

**製品名: KIF4B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13016**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                      |
| 宿主     | うさぎ   |
| 応用     | WB,ELISA  |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | IgG   |
| クローン性  | ポリクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。             |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 135kDa                               |

**抗原情報**

|              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 遺伝子名         | KIF4B                    |
| 別名           |                          |
| 遺伝子 ID       | 285643.0                 |
| SwissProt ID | Q2VIQ3                   |
| 免疫原          | ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド |

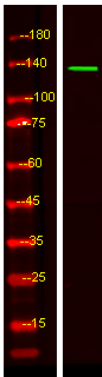
**背景**

キネシンファミリーメンバー 4B (KIF4B) ホモサピエンス この遺伝子は、キネシンファミリーメンバー 4A のイントロンを含まないレトロコピーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、微小管を基盤としたモータータンパク質で、後期紡錘体のダイ

ナミクスと細胞質分裂において重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2016年7月],機能: 中期から後期への移行期に、PRC1を噛み合った紡錘体のプラス端へ輸送するモータータンパク質。この移行は、組織化された中心紡錘体の中間領域と中間体の形成、そして正常な細胞質分裂に不可欠なステップです。有糸分裂期の染色体の配置と双極紡錘体の安定化に関与している可能性があります。、配列に関する注意: 汚染配列。ポリ A 配列の可能性あります。、類似性: キネシン様タンパク質ファミリーに属します。、類似性: キネシン様タンパク質ファミリーに属します。クロモキネシンサブファミリー。、類似性: 1つのキネシンモータードメインを含む。、細胞内局在: 核小体には存在しない。有糸分裂初期には紡錘体に、分裂後期には紡錘体の中央部に、分裂終期および細胞質分裂期には中央体に局在する。細胞質分裂後期には中央体の中心に存在する。有糸分裂の全ての段階において染色体と関連する。、サブユニット: 有糸分裂後期に非リン酸化 PRC1 と相互作用する。、組織特異性: 造血組織、胎児肝臓、脾臓、胸腺、成人胸腺および骨髄で高発現する。心臓、精巣、腎臓、結腸、肺でも低発現する。、組織特異性: 精巣で特異的に発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。